



News Release

シーズン初めの石油ストーブ安全大作戦 ～5つのポイントで火災事故を防ごう！～

1. 事故発生状況

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}において、石油ストーブ等^{※2}に関する製品事故は、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）では、2018年度から2022年度までの5年間に42件ありました。

（※1）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。

（※2）本資料では石油ストーブ及び石油ファンヒーターをまとめて「石油ストーブ等」と記述します。

1-1. 事故発生状況

(1) 年別 府県別 事故発生状況

表1 年別 府県別 事故発生件数^{※3}（単位：件）

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2018年度	1 [1]	4 [4]	1 [1]	1 [1]		2 [2]	9 [9]
	2019年度		3 [3]	5 [5]	1 [1]	1 [1]		10 [10]
	2020年度	1 [1]		3 [2]	3 [3]			7 [6]
	2021年度	3 [3]		2 [1]	2 [2]		1 [0]	8 [6]
	2022年度	1 [1]	2 [2]	4 [4]	1 [1]			8 [8]
合計	事故件数	6	9	15	8	1	3	42
	火災件数	[6]	[9]	[13]	[8]	[1]	[2]	[39]

（※3） [] は火災件数。

(2) 府県別 被害状況

表 2 府県別 被害状況^{※4} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的 被害	死亡	1 (1) [1]	2 (2) [2]	2 (2) [2]	1 (1) [1]			6 (6) [6]
	重傷			1 (1) [1]				1 (1) [1]
	軽傷	2 (4) [2]	2 (3) [2]	1 (1) [1]	2 (2) [2]			7 (10) [7]
物的 被害	拡大被害 ^{※5}	3 [3]	5 [5]	9 [7]	4 [4]	1 [1]	2 [1]	24 [21]
	製品破損			2 [2]	1 [1]		1 [1]	4 [4]
合計	事故件数	6	9	15	8	1	3	42
	被害者数	(5)	(5)	(4)	(3)	(0)	(0)	(17)
	火災件数	[6]	[9]	[13]	[8]	[1]	[2]	[39]

(※4) ()は被害者数、[]は火災件数。物的被害（製品破損または拡大被害）があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

(※5) 製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

2. 事故事例の概要

給油口ふたの閉め忘れ及び締め付け不良などによりこぼれた灯油に引火

事故発生年月 2022年4月（京都府、70歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

石油ストーブを使用中、建物1棟を全焼、2棟を類焼する火災が発生した。

【事故の原因】

給油口ふたの閉め方が不十分であったため、給油後のカートリッジタンクを石油ストーブ本体へ戻す際に給油口ふたが外れて灯油がこぼれ、こぼれた灯油がストーブ天板から燃焼筒にかかって発火し周囲へ拡大したものと考えられる。

ガソリンの誤給油

事故発生年月 2021年1月（滋賀県、年齢・性別不明、軽傷）

【事故の内容】

使用中の石油ファンヒーター付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

カートリッジタンク等からガソリンが検出されたことから、使用者がガソリンを誤給油したため、滞留していたガソリンのガスに引火した事故と考えられる。

3. 石油ストーブ等の事故映像について

石油ストーブ等に関する製品事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先 担当者までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 大下 龍蔵

担当者 製品安全広報課 宮川 七重、山崎 卓矢、岡田 有毅

Mail : ps@nite.go.jp

Tel : 06-6612-2066